

年頭所感

# 負の歴史を繰り返さない

## ジェンダー平等とベネズエラ 議長 荻原 圭子

これを読んでいただいている現役世代の方々へ。昭和の男子小学生に流行った「スカートめくり」というのをご存知でしょうか。あれは、おおらかな時代のノスタルジーなどではありません。将来のセクハラ男の幼生の仕業です。掃除中の筆者（と言えるかどうか）の後ろからひらりとめくって逃げ去った男子を長い廊下の突き当りまで追い詰め、持っていたほうきで気が晴れるまで叩きのめし過剰防衛した記憶があります。そう言えばその後、同様の性被害を受けませんでした。あいつには手を出さなという情報が口伝SNSで拡散



山形県労連荻原議長



発行責任者  
佐藤 完治  
山形市薬師町 2-6-15  
TEL.023(615)2172  
FAX.023(615)2173  
HP <http://www.yamagataroren.com/>  
E-mail:[yamagataroren@yahoo.co.jp](mailto:yamagataroren@yahoo.co.jp)



12月21日尾花沢市で実施された第8回食料支援きたむらやま

されたのでしよう。小4くらいの子は男子より成長が早く、体格で見劣りしていませんでした。当時の筆者の人生訓には、一部の男子については十分に折檻してしつけるべきだというのがあったようでした。で、朝ぼんやり起きて眺めた新聞で米国のベネズエラ侵攻を知って驚きました。

プーチンやネタニヤフには病的な悪意を感じていました。たがトランプは金儲けにしか興味のない人物なのだろうと漠然と考えていました。麻薬撲滅に関心があるのかのように見せかけ、石油の利権狙いだったとは。世界は数千年変わっていないかのようです。いや数万年前かもしれない。つま、男が力づくで殺し奪い、それを支え従う、いや居ないことになっている女の世界。トランプのような下品な風評のある人物を大統領に選んだ米国民にがっかりしていましたが、他人事ではないことがすぐ分かります。

訪中した高市はしようがないみたいなの顔の習近平と満面の笑みで写真に納まっていた。その一週間後、対中国問題でいざとなった。米軍と共同し軍事対応するかのようになってのけました。揺りかごから墓場までと言われた高福祉社会をズタズタにしたサッチャーを尊敬しているといひます。歴史的に長く「眠れる獅子」と言われていた中国。今の国は起きています。眠っている虎に石を投げるのは自殺行為ですが、眼光鋭く周囲を見回している虎に石を放るような振る舞いで。しかも彼らには、20世紀半ばに日本が中国大陸で行った悪魔の所業の記憶が鮮明なはず。アイスランドについてのドキュメンタリー映画を見そびれました。どなたか感想を聞かせて下さい。しかしあの国でさえも男女平等は道半ばと聞きます。もっとも女性という言葉が必要です。意思決定の場に女性を、ケアと共生の社会を実現するために。より平等と自由を追求するために。男女平等の正確な位置にピンポイントで接近することは不可能です。まずは振り子

を大きく女性側に振り込み、揺れに任せて近似値に近づくまで待ちましよう。負の歴史を繰り返さないために。

全労連共済・推進協議会の  
労働組合共済

## 個人共済 おうちの安心共済

はじめませんか?  
人生での高い買い物 保険 のかわりに  
節約しながら もしも の備えができる労働組合共済

問合せ：山形県労連共済担当へ  
Tel:023-615-2172 fax:023-615-2173

# 対話と学び合いから 未来を切り拓く



## 二〇二五レバカレに参加して

山形青年学生ユニオン

会沢 哲也

10月11日〜13日に東京で開催されたレイバーユニオンカレッジに参加してきました。3日間で3つの全体会と合わせて70の分科会があり、その中から好きな分科会を選んで参加することが出来ました。それぞれの分科会にはフォーラム形式やワークショップ形式など様々で、全体を通して文化祭みたいな雰囲気を感じ、とてもワクワクするイベントでした。

私は、「心を近づける日々のコミュニケーションと対話」「非正規春闘」「スローモーションの表と裏」「ローカルユニオン・個人加盟ユニオンの未来」「学生から見える労使対等と賃金要求の仕方」の5つに参加しました。「スロー」や「非正規春闘」の分科会では特に励まされました。学生や組合員が一人のところでも声を上げていこうとすべしと、山形でもきつとできる！私達がその先頭に立ち、青年・学生に“声を上げることが出来る”

と伝えなければいけないと感じました。全体会での発言にもありましたが「労働組合は魔法のツール」であることを改めて気付かされました。

レバカレは私にとって刺激と学びの多い3日間となりました。山形でも労働条件で泣き寝入りする青年や学生は少なくありません。あらためて自分たちの役割と存在意義を認識し、今後活動も活動を広げていきたいと思えます。

福祉保育山形地本

海藤 織江

他県の参加者と交流しながら、さまざまな立場の人が抱える課題や、それに向けた取り組みについて学び「子どもたちにもう一人保育士を」と労働組合が社会を動かすヒント」の分科会では、現場で働く人たちの声や思いを直接聞くことができ、とても貴重な

経験になりました。

全体会2の「労働運動の未来は誰がつくるか」で特に印象に残ったのは、「働きやすい環境をつくるためには、自分たちが声をあげることが大切だ」というお話しが特に印象に残りました。

今の制度では、1歳児6人に対して保育士1人という配置基準が定められていますが、実際にその人数で保育を行うのはとても大変です。も人手が足りません。静岡市のように、補助金を活用して4対1で保育を行えるようにしている自治体がある一方、補助が出ない市があり、保育の質に格差が生まれている現状を知りました。本来あってはならないことだと思えます。

保育の現場をよりよくするためには、現場の声を行政や社会に届けていくことが必要だと強く感じました。行動に移す勇氣を持つことが大切だと学びました。自分自身も、働きやすい環境づくりのために何が出来るかを考え、仲間と協力しながら行動していきたいと思えます。



一緒に分科会を運営した静岡・愛知の仲間と

現場で働く人たちの声や思いを直接聞くことができ、とても貴重な

## 地域一般労働組合・青年ユニオン

# 東北ブロック交流集会 in 八戸



グループワークに臨む参加者

山形青年学生ユニオン  
委員長 埴澤

この集会以はコミュニケーション・オーガナイズの実践を中心とした講座が3部構成で2日間にわたって開かれました。全体的にロールプレイングやチームでの話し合いなど具体的な実践を交えた学習が多く、労働相談を円滑に進めるコツを体

山形医労組

吉田 久

今回交流集会に参加して組合活動で大事

感的に学ぶことができました。

中でも特に印象に残っているのは、職場マッピングです。今回は私が労働者役となり自分の職場を図に起こし、チームのほかのメンバーが職場の問題について質問をするという形式でした。これまで自分の職場に大きな問題を感じたことがなかったのですが、質問されながらマッピングしていくうちに、職場の課題が作業同線の混乱であることに気づきました。これは新たな発見です。

何気ないことでも、図式化してみると意外な課題に直面することがあると学びました。これは労働相談のみならず友人の悩み相談にも使える手法だと思えます。2日間は正直あつという間でした。講座だけでなく八戸を満喫できるツアーも組まれており、他県の組合員とも存分に交流することができました。

な組織拡大について勉強になりました。

ここで学んだことを自分の単組でも役に立てていきたいと思えます。